

ジャンボリーを終え、みえた今の自分

富士一隊 酒井 正信

私は今回、はじめてのジャンボリーの参加でした。そしてその中で普段出来ていそうで、出来ていなかったことが出来ました。それは

「今の本当の自分を知る」
です。

ジャンボリー期間、私は多くの場面で色々な自分に出会えたと思います。中でも次の三つは特に印象に残りました。

一つ目は、私の班では期間中、体調をくずす班員が何人もいたり、一人なただを使っている時、けがをしてしまったりと、全員が元気といえる日はほとんどなく、その時、私は行き場のない、もどかしさや焦り、怒りなどいろんな感情が混ざっていました。隊長や副長は、

「一人で背負いこむことじゃないよ」
と 言うてくれましたが、私は性格上そんなことはできません。しかしいつまで経ってもこんな自分ではいけません。私は一人でいろいろ背負いこんでしまうことがあります、強い心で受け止められるようにしていきたいです。

二つ目は、これは個人的にはだいぶ克服出来ていたと思っていた人見知りな自分です。期間中、他の隊との交流会というのがありました。初めはワクワクする気持ちが強かったです。しかし始まってみると始まる前の威勢はどこにいったのか、周りのペースについていけず、どンドンあの場にいるのが辛くなってしまいました。今でも少し後悔しています。

「あの時もっと〇〇していれば・・・」
もうこんな思いをするのは嫌です。人見知りをなくして、二度と同じことを繰り返さないようにしていきます。

三つ目は、私は班長を務めていましたが、その時の指示です。

「本当にこれでいいのか」
何度もこの言葉が頭によぎりました。

今の自分には「自信」がありません。これはとても不安です。何をするにも自信はとても重要です。この自信がないと本来出せる力が充分に出せなかったり、次のステップに進めなかったりと自分を伸ばせなくなります。なのでまずは自信をつけれるようになり そしてから、強い心をもったり人見知りをなくしていきたいと思います。

ジャンボリーは気の知れた仲間や家族はおらず、自分の好きなこともほとんどできません。しかし、だからこそそのような人やものにたよることに出来無い場所で生活するからこそ、今の本当の自分を知ることができると思います。